

# 2016年度 学習支援・教育開発センター活動報告

## 部会活動

### ・FD支援部会

第1回：5月12日開催

（審議事項）2016年度事業計画

教育開発調査活動費制度に関する申合せ一部改正

第2回：6月28日開催

（審議事項）2017年度新任教員研修会実施要領

（懇談事項）FD活動の検証と次期計画の検討—「学生による授業評価アンケート」  
の実施状況と教育の内部質保証システムの検討—

第3回：10月17日開催

（審議事項）「同志社大学学習支援・教育開発センター年報」投稿規定

2017年度教育方法・教材開発募集

（懇談事項）2017年度以降の授業評価アンケートの実施

第4回：12月7日開催

（審議事項）2016年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」調査項目・  
実施要領

第5回：12月21日開催

（審議事項）2017年度「大学入学準備講座」実施

2017年度教育方法・教材開発費申請

（懇談事項）シラバスの第三者チェックについて—内部質保証システムの有効性—

第6回：1月20日開催

（審議事項）2017年度教育方法・教材開発費申請

第7回：2月23日開催

（審議事項）2017年度「学生による授業評価アンケート」

（懇談事項）今年度部会の総括

## <活動報告>

2016年度のFD支援部会は事業計画として、①FD活動の検証と次期計画の検討、②「大学入学準備講座」の企画、③FDに関する意識高揚活動の実施、④その他（検討を必要とする各種課題）の4点を事業計画として掲げた。

①「FD活動の検証と次期計画の検討」については、センターが担う取組みに関してPDCAサイクルを適切に機能させ、現状のFD活動を、各学部・研究科・センターにおける自己点検・評価体制に役立てられるように再点検を行った。具体的には、「教育方法・教材開発費制度」に、部会委員による点数評価を導入し、A区分・B区分の各基準値を設定し、審査方法を変更した。「遠隔講義等の実施に係るマルチメディア教材作成支援制度」については、2016年度から、明確化した査定基準に即した運用を開始している。「教育開発調査活動費制度」については、制度を利用した学外企画参加者からのフィードバックの実質化を図り、全学的な視点から新しい教育システムの開発、教育効果測定方法の開発、教育方法の改善について情報提供をしていただき、企画立案に役立てるようにした。学修成果の可視化（教学IR）の取組みとしては、2016年度から「キャンパスライフに関するアンケート調査」をもとにパネル調査分析を始めた。パネル調査は、本学特有の教学改善の重要課題、改善成果を測る指標、有効な改善手法を探るためのデータとして期待される。また、各学部・研究科を訪問しての調査結果のフィードバックの際、当センターが設定した分析テーマに加えて、各学部・研究科のリクエストに応じた分析テーマでFD講演会を実施した。

②「『大学入学準備講座』の企画」については、2016年度の本講座の実施状況をふまえ、現在、法人内高校中心の取組みを一般高校へ広く展開した場合の課題や問題点を整理している。学内関係部署や他企画との連携強化と情報共有の仕組みを構築していく過程で、3ポリシーを意識した模擬授業や講座の開催企画や実施などに発展させていく予定である。

③「FDに関する意識高揚活動の実施」について、各学部等で実施しているFD活動の内容を他の学部等に情報提供するため、CLF reportを年2回発行している。2017年3月には、大阪府立大学の高等教育推進機構・高等教育開発センターから畑野快氏を招き、『3つのポリシーと学修成果の可視化—内部質保証システムの構築に向けて—』をテーマとしたFD研究会と、京都外国語大学マルチメディア教育研究センターの村上正行氏とシステムベンダー2社を招き、学内教職員の情報共有とディスカッションを目的とした企画、第3回授業デザイン研究会『ICTを活用した授業デザイン』を実施した。



④その他（検討を必要とする各種課題）については、2016年度第7回部長会（2016年5月26日開催）で、「学校教育法施行規則の一部改正と3つのポリシーの再策定について」の報告があり、学長より示された方針のもと、3つのポリシーに一貫性・整合性を持たせる再点検・再策定作業を行った。すでに作業は終了し、2017年度から公開する予定である。

### ・大学院教育検討部会

第1回：5月23日開催

（審議事項）2016年度事業計画

第2回：7月12日開催

（懇談事項）大学院共通基礎科目の展開方法の検討  
TA制度（運用の適切性）の再点検

第3回：10月25日開催

（懇談事項）TA制度（運用の適切性）の再点検  
大学院共通科目の展開方法の検討

第4回：1月10日開催

（審議事項）2017年度TA研修会の実施  
（懇談事項）大学院共通科目の展開方法の検討—研究倫理に関する全学的な仕組みの検討（各検討グループからの提言とりまとめ）—

第5回：2月17日開催

（懇談事項）大学院共通科目の展開方法の検討—研究倫理に関する全学的な仕組みの検討（本部会からの提言）—  
今年度部会の総括

### <活動報告>

2016年度の大学院教育検討部会では、①大学院共通科目の展開方法の検討、②TA制度（運用の適切性）の再点検、③大学院教育充実のための情報提供と意見交換、④その他（検討を必要とする各種課題）の4点を事業計画として掲げた。

①「大学院共通科目の展開方法の検討」については、2016年度で3年目となる継続課題である。大学院の多様化した学生を対象に何か共通の科目が設置できないだろうかという提案から議論を始めたが、学問の特殊性ということもあり、横断的な共通科目の設置は厳しいのではないかという意見が大勢を占め、過去、議論がなかなか進ま

なかった。そこで、2016年度は倫理教育についてはその必要性を共有していることから、研究科横断的な研究倫理科目の設置に向けて、基本的・プリミティブなものから同志社の特性を出したようなものまで含めて段階的な検討を行った。検討の成果は、本部会から大学執行部へ「提言」として提出した。

②「TA制度（運用の適切性）の再点検」についても2015年度からの継続課題である。TA業務を行う大学院生のTA研修会参加の実質化を後押しすることを目的に、2016年度TA研修会では受講証明書の発行を試行実施し、英語併記のTAリーフレットを発行した。そして、現在のTA制度や研修制度の効果を検証するために、2015年度に実施した「TA業務に関するアンケート調査（教員版・学生版）」を再分析し、制度の再点検を行った。TA業務に関するアンケート調査結果の一部は、CLF report Vol.24のP3（2016年3月号）に掲載しているが、今年度は所属（文系／理系）別にアンケート結果を再分析した。事務局では、大学院生のニーズを踏まえて、2017年度から、ラーニング・アシスタント（LA）とティーチング・アシスタント（TA）の交流会「大学院生ランチタイム交流会（仮）」を開催することを企画している。LA業務との共通点や学部学生に対する授業外学習での助言方法、TA経験の相談業務への活かし方等をお互いに情報提供することで、現役TAが今後、授業担当の教員に各種提案ができるようになるような企画と位置付けている。今後、「授業で活躍できる大学院生の育成や能力向上、成長を促すTA研修制度や教育プログラムの検討」をしていく際に、TA研修会でカバーする範囲、大学院生交流会で期待される範囲、各研究科あるいは各授業担当教員で対応する範囲を整理する予定である。

③「大学院教育充実のための情報提供と意見交換」については、各研究科における取組の紹介や、文部科学省の施策、中央教育審議会大学院部会における議論の紹介等、大学院教育に関する情報提供を行った。なかでも、中央教育審議会大学分科会大学院部会（第80回）における大学院教育の在り方の議論（3つの論点：①専門職大学院にかかる検討内容、②理工系人材の育成、③ポストリーディング大学と位置づけられている卓越大学院構想）について情報共有を行った。

④「その他（検討を必要とする各種課題）」については、学内で現在検討中の諸課題、特に学長から示された2016年度に重点的に取り組む課題や、「同志社大学ビジョン2025」を基本とした中期行動計画の実現に向けて、センターが関わる部分の内容の精査や関連事項の検討をした。2016年度第7回部長会（2016年5月26日開催）で、「学校教育法施行規則の一部改正と3つのポリシーの再策定について」の報告があり、学長より示された方針のもと、大学院課程もAPを策定し、3つのポリシーの一貫性・



整合性を図るために再点検作業を行った。3つのポリシーは2017年度から公開の予定である。

## ・学習支援検討部会

第1回：5月19日開催

（審議事項）2016年度事業計画

第2回：7月5日開催

（懇談事項）良心館ラーニング・コモنزの利用動向、学習成果の分析

第3回：10月14日開催

（審議事項）「良心館ラーニング・コモنزの利用者に対するフォトダイアリー調査」実施要領（案）

（懇談事項）京田辺キャンパスにおける学習支援プログラム（案）の策定—京田辺キャンパス学部委員訪問のまとめ及び他大学ヒアリング調査の報告—

第4回：12月20日開催

（懇談事項）京田辺キャンパスにおける学習支援プログラム（案）の策定—京田辺キャンパス学習支援施設における学習相談スタッフの体制について—

第5回：2月21日開催

（懇談事項）京田辺キャンパスにおける学習支援プログラム（案）の策定  
良心館ラーニング・コモنزの利用動向、学習成果の分析  
良心館ラーニング・コモنز提供プログラムの検証と評価  
その他（広報活動の強化、学部間連携の継続等）

## <活動報告>

2016年度の学習支援検討部会では、①京田辺キャンパスにおける学習支援プログラム（案）の策定、②良心館ラーニング・コモنزの利用動向、学習成果の分析、③良心館ラーニング・コモنز提供プログラムの検証と評価、④その他（広報活動の強化、学部間連携の継続等）の4点を事業計画として掲げた。

①「京田辺キャンパスにおける学習支援プログラム（案）の策定」については、ラーネット記念図書館を主として、京田辺キャンパスに整備される新しい学習環境において、どのような学習支援サービスが必要なのか、今出川キャンパスでの知見や、京田

辺キャンパスの教員をはじめ、先行事例のある他大学へのヒアリング結果等をもとに提供プログラムについて検討した。京田辺キャンパスの各学部ヒアリング時の意見・要望をもとに、京田辺キャンパスにおける学習支援プログラムや関連業務がどのような体制で展開できそうか、今出川キャンパスですでに展開しているラーニング・コモンズや他大学の学習支援環境の運営体制をもとにイメージを共有した。

②「良心館ラーニング・コモンズの利用動向、学習成果の分析」については、2013年度より取得している入退館データの集計の詳細な分析に着手するもので、ピークの利用時間、利用グループのパターンなどについて分析を試みた。今後は、授業開講数や課外活動との相関分析も検討している。また、良心館ラーニング・コモンズの利用者に対するフォトダイアリー調査も実施した。本調査の実施目的は、良心館ラーニング・コモンズで協同学習を行っている学生を対象に、相互の学び合いの実態を明らかにすることで学生の成長を把握することにある。同時に、練達したラーニング・コモンズ利用者の利用実態を明らかにすることを通じて、現在のラーニング・コモンズの改善点を探り、今後の運営に資することも可能である。利用学生の学習スタイルの可視化とそこから読み取れるパターンの抽出を試行し、この結果とこれまで良心館ラーニング・コモンズで取得してきたデータを重ね合わせ、複合的に学習成果を検討する材料としていく予定である。

③「良心館ラーニング・コモンズ提供プログラムの検証と評価」については、アカデミックサポートエリアでの学習相談の数と相談の分類、相談時の対応方法の見直しを行った。学習相談については、授業における課題をきっかけに相談に来る学生が多いこともあり、2017年度は、LAとTAとの交流会を企画し、学部学生の授業外学習の助言、相談業務を担当する中で、TAの経験がどのように活かされているのか、気づきやエピソードなどをTAに情報提供することで、現役TAが授業担当の先生等にフィードバックできるような大学院生同士の連携（情報共有）のコミュニティ（交流の場）を設けたいと考えている。また、アカデミックスキルセミナーの秋学期に実施しているプログラムについて、基礎的な内容から応用的な内容に改編を試み、これまでと実施形態を変え、1回30分のレクチャー全3回を1セットとしたプログラムパッケージで提供した。各課題を作成していく過程で、講師からの具体的なフィードバックを希望するニーズを拾い上げ、講義メインではなくすることが目的だったが、期待度や役立ち度も、まずまずの評価を受けた。

④「その他（広報活動の強化、学部間連携の継続等）」については、学内教職員をターゲットにした広報活動・情報発信を継続し、良心館ラーニング・コモンズの各種プロ

グラムの利用促進と学習効果の向上を図るものである。LAが責任編集している広報誌『コモンズプレス』については、年2回のペースで発行している。アカデミックスキルセミナーと良心館ラーニング・コモンズの利用案内ツアーのチラシは、学部新入生向けの入学式配付物に同封してもらい、特に初年次学生への周知を図っている。アカデミックスキルセミナーは、商学部春学期の初年次科目「アカデミック・リテラシー(AL) I」と連携した取組みを行っており、商学部の導入科目運営委員会(導入科目FD部会)において、授業運営に関する意見交換にアカデミック・インストラクターが参加し、次年度もこの連携の取組みは継続する予定である。他学部とも、授業と授業外学習との連携を深め、学生の学びがより深化するモデルを検討している。

コモンズカフェは、2016年度は6回開催したが、役職者をはじめ、学部だけでなく、研究科やセンターの教員にも協力いただいた。2017年度も、京田辺と今出川の交流も念頭に、引き続き京田辺キャンパスの各学部教員にも話題提供してもらい、コモンズ内でのイベントに参画してもらうことでラーニング・コモンズの雰囲気や、今後、京田辺ラーニング・コモンズで展開するプログラム運営の検討材料にしてもらいたいと考えている。今後の京田辺ラーニング・コモンズで展開するプログラム運営には、今出川校地の各学部の教員にも協力してもらうことで、キャンパス間の交流も図っていききたいと考えている。

## 研修会の開催 ※肩書きは研修会開催当時

### ・2016年度新任教員研修会

日 時：4月2日(土) 13:00~16:25

場 所：(主会場)今出川校地 寧静館5階会議室

(配信会場)京田辺校地 成心館2階207会議室

プログラム：

開会挨拶 松岡 敬 学長

本学におけるガバナンス、意思決定の仕組み(講師)藤澤 義彦 副学長

本学におけるグローバル化の取組(講師)北川 雅章 国際連携推進機構長

本学における教育活動(講師)圓月 勝博 教育支援機構長

本学における学生支援体制(講師)藤澤 義彦 学生支援機構長

本学における研究活動(講師)横川 隆一 研究開発推進機構長

本学における入学試験業務(講師)多久和 英樹 入学センター所長

本学における教育・研究倫理 (講師) 岡田 幸宏 倫理審査室長  
(司会 大島 佳代子 学習支援・教育開発センター所長)

### ・2016年度TA研修会

日 時：

第1回 4月4日(月) 12:00~12:45

(主会場) 今出川校地 良心館2階ラーニング・commons

(配信会場) 京田辺校地 知真館1号館232番教室

第2回 4月6日(水) 12:00~12:45

(主会場) 京田辺校地 恵道館201番教室

(配信会場) 今出川校地 良心館2階ラーニング・commons

第3回 4月7日(木) 18:30~19:15

(主会場) 今出川校地 良心館2階ラーニング・commons

(配信会場) 京田辺校地 恵道館201番教室

内 容：

- ・TA制度の目的・役割、業務範囲、TAの心得、キャンパス・ハラスメントの防止等について
- ・TA経験のある若手教員・大学院生の体験談
- ・TAの事務手続きについて

講 師：

山田 礼子 社会学部教授

久保 真人 政策学部教授

土屋 隆生 理工学部教授

土屋 誠司 理工学部准教授

佐藤 翔 免許資格課程センター助教

中園 宏幸 商学部助教

大学院生 社会学研究科

大学院生 総合政策科学研究科





## 報告会・研究会の開催 ※肩書きは報告会・研究会開催当時

### ・教育方法・教材開発成果報告会

日 時：12月7日（水） 12：40～13：10  
場 所：（主 会 場）今出川校地 至誠館3階会議室  
（配信会場）京田辺校地 成心館2階207会議室  
内 容：文系学部生に求められる「高校数学」自学自習プログラム開発  
講 師：角井 正幸 経済学部教授  
宮本 大 経済学部教授

### ・2016年度学習支援・教育開発センター FD研究会

日 時：3月28日（火） 14：00～14：45  
場 所：（主 会 場）今出川校地 寧静館5階会議室  
（配信会場）京田辺校地 成心館2階207会議室  
テ ー マ：3つのポリシーと学修成果の可視化  
—内部質保証システムの構築に向けて—  
講 師：畑野 快 氏（大阪府立大学 高等教育推進機構 高等教育開発センター  
特認助教）

### ・授業デザイン研究会

日 時：3月28日（火） 14：55～16：00  
場 所：（主 会 場）今出川校地 寧静館5階会議室  
（配信会場）京田辺校地 成心館2階207会議室  
テ ー マ：ICTを活用した授業デザイン  
講 師：村上 正行 氏（京都外国語大学 マルチメディア教育研究センター 教授）  
話題提供①：ソニービジネスソリューション株式会社  
話題提供②：日本データパシフィック株式会社

## 良心館ラーニング・コモンズでの活動

### ・2016年度LA研修

対 象：2016年度LA（ラーニング・アシスタント）

※LAとは、ラーニング・コモンズにおいて学習支援の専門的知識を背景に、学部学生の授業外学習に関する助言、相談業務を担当するスタッフで、2013年度より運用を開始した。LAの指導を受けることによって学部学生の学習成果の向上を図るとともに、LAが教育経験を積む機会を提供することによって、教員・研究者・専門職業人等としての自立を奨励することを目的としている。

場 所：今出川校地 良心館3階ラーニング・コモンズ

講 師：浜島 幸司 アカデミック・インストラクター（第1回、第7回）

岡部 晋典 アカデミック・インストラクター（第2回、第5回、第6回）

鈴木 夕佳 アカデミック・インストラクター（第3回、第4回）

（第1回）日 時：3月24日（木） 10：45～12：15

内 容：LC、LAについて知る、自己紹介

（第2回）日 時：3月24日（木） 13：10～14：40

内 容：コミュニケーション力をつける

（第3回）日 時：3月24日（木） 14：55～16：25

内 容：カリキュラムとアカデミック・スキルズを知る

（第4回）日 時：3月24日（木） 16：40～18：10

内 容：ワーク（LC活用ワークショップ）

（第5回）日 時：3月25日（金） 10：45～12：15

内 容：前日の振り返り、ワーク

（第6回）日 時：3月25日（金） 13：10～14：40

内 容：報告、質疑応答

（第7回）日 時：3月25日（金） 14：55～16：25

内 容：まとめ

（第8回）日 時：10月5日（水） 19：00～20：30

テーマ：「ラーニング・コモンズでの学びの共有化を考える」

講 師：村上 正行 氏（京都外国語大学 マルチメディア教育研究センター教授）

（第9回）日 時：10月12日（水） 19：00～20：30

内 容：フォローアップ



## ・コモンズカフェ

場 所：今出川校地 良心館ラーニング・コモンズ2階 グローバルビレッジ

(第17回) 日 時：4月27日(水) 14:55~15:55

ゲスト：圓月 勝博 文学部教授

テーマ：イギリス文学に親しむ—教養に満ちた学生生活を送る方法—

(第18回) 日 時：1月13日(金) 14:55~15:55 ※当初の日程を変更して開催

ゲスト：大島 佳代子 政策学部教授

テーマ：18歳からの選挙権

(第19回) 日 時：7月5日(火) 14:55~15:55

ゲスト：野口 範子 生命医科学部教授

テーマ：あなたもめざまませんか？サイエンスコミュニケーター

(第20回) 日 時：10月26日(水) 14:55~15:55

ゲスト：村山 裕三 ビジネス研究科教授

テーマ：京都の伝統産業—その経営戦略と成長の見通し—

(第21回) 日 時：11月17日(木) 14:55~15:55

ゲスト：SOLT George (Sekine) グローバル教育センター准教授

テーマ：ラーメンからみる日米の歴史と文化

(第22回) 日 時：12月19日(月) 14:55~15:55

ゲスト：越川 弘英 キリスト教文化センター教授

テーマ：クリスマスのいろは

## ・アカデミックスキルセミナー

開催期間：春学期…4月8日(金)~7月27日(水)

秋学期…10月4日(火)~1月25日(水)

場 所：今出川校地 良心館ラーニング・コモンズ3階

京田辺校地 ラーネット記念図書館2階

内 容：(今出川校地 春学期・京田辺校地 通年)

学術文献の読み方／アイデアの拡張法／伝わる文章の書き方／プレゼンの構成法／グループでのアイデア出し／ソーシャルメディアの学術的利用法／レポートの構成法／ノートの取り方／ポスターの作り方／レジユメの作り方／引用の方法／ラーニング・コモンズ活用法／情報探索の方法／図・表の見方・作り方／メールの書き方

(今出川校地 秋学期)

レポートを書く (全3回1セット) / プレゼン資料を作る (全3回1セット) / データを用いた文章を書く (全3回1セット)

講師：浜島 幸司 アカデミック・インストラクター  
岡部 晋典 アカデミック・インストラクター  
鈴木 夕佳 アカデミック・インストラクター

## 「学生による授業評価アンケート」の実施

### ・春学期 (中間)

実施期間：WEB利用…5月19日～6月1日  
調査票利用…5月26日～6月1日

### ・春学期 (期末)

実施期間：WEB利用…7月14日～7月27日  
調査票利用…7月14日～7月20日

### ・秋学期 (中間)

実施期間：WEB利用…11月5日～11月18日  
調査票利用…11月12日～11月18日

### ・秋学期 (期末)

実施期間：WEB利用…1月13日～1月27日  
調査票利用…1月13日～1月23日

## 2016年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」の実施

調査対象：学部1年次生及び3年次生

実施日：秋学期成績通知書配付時 (3月25日)

## 大学入学準備講座の開講

### ・9月24日：京田辺校地 夢告館101番教室

「生命現象のダイナミックス:リズムは同期する？」(剣持 貴弘 生命医科学部教授)

「2020東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを考える」—国民幸福度の向上—  
(横山 勝彦 スポーツ健康科学部教授)



- ・10月8日：今出川校地 明德館1 番教室  
「第二外国語学習をめぐって」  
(中西 裕樹 グローバル・コミュニケーション学部准教授)  
「ルネサンスの知、知のルネサンス」(伊藤 玄吾 グローバル地域文化学部准教授)
- ・10月22日：今出川校地 明德館1 番教室  
「脳の中に、時計をさがしに」(畑 敏道 心理学部教授)  
「経済学的な政策の考え方」(川上 敏和 政策学部教授)
- ・10月29日：今出川校地 明德館1 番教室  
「経済学を学ぶことで見えてくるもの」(大野 隆 経済学部教授)  
「流行をつくるメカニズム」(内野 雅之 商学部准教授)
- ・11月5日：今出川校地 明德館1 番教室  
「宗教改革のカラクリを知る」(中野 泰治 神学部准教授)  
「若者は政治を変えられるのか：理論とデータ」(飯田 健 法学部准教授)
- ・11月12日：京田辺校地 夢告館101番教室  
「データサイエンスのすすめ」(金 明哲 文化情報学部教授)  
「賢い人工物—賢さとは何だろうか—」(三木 光範 理工学部教授)
- ・11月19日：今出川校地 明德館1 番教室  
「ペルシア戦争の記憶」(中井 義明 文学部教授)  
「国際社会学への誘い」(板垣 竜太 社会学部教授)

## 発行物

- ・CLF report (学習支援・教育開発センターレポート)  
第25号：10月15日発行  
第26号：3月30日発行
- ・「キャンパスライフに関するアンケート調査」  
2015年度調査結果中間報告書：10月発行  
2015年度調査結果報告書：3月発行
- ・2016年度「大学入学準備講座」講義録：2月25日発行